

岩佐作太郎 いわさき たくろう 無政府主義者。明治二十二年九月二十五日千葉縣植生郡棚毛生れ、昭和四十二年一月十一日没（一八七九—一九六七）。號國政堂主人、國民改良論主人。明治二十一年東京法學院卒。三十二年、リギル著『秘密結社』（前田長八譯、明治三十二年三月八日石川音次郎刊）を讀み、爾後アナキズムに志す。翌年アメリカに渡り、アレキサンダー・バークマン、エマ・ゴールドマン等を知る。大正三年歸國、八年上京、翌年日本社會主義同盟結成に努め、機關誌『社會主義』發行責任者となる。十五年支那に渡り、張繼等を知る。戰後日本アナキスト連盟組織せられ全國委員長となるも、二十五年分裂、翌年アナキスト・クラブ結成。へ激越なアジテーターだった（萩原晋太郎）。クロボトキン著『パンの獲得』（昭和二十五年二月、千白アナキスト・クラブ）筆を譯した他、『革命断想』（昭和二十三年十一月、千白千葉・私家本）、『アナキストの回想—私の思い出』（昭和四十五年四月、千白タトナス社）『タトナス双書』）、『無政府主義者は答える』（新版・平成二年一月、黒色戦線社）等々著はす。

